

男女共同参画社会を目指して～災害防災編～

近年、大規模災害が多発しております。災害時において女性や子ども、高齢者や障がい者など、脆弱な状況にある人々がより多くの影響を受けやすいといわれています。男女の違いや多様な被災者の視点に配慮することが重要です。年齢や性別など人によって生活必需品は異なります。非常時の持ち出しに必要なものを家族で準備しておきましょう。

女性の意見を取り入れるために、避難所の運営に女性も積極的に参画しましょう！

○避難所運営委員会の構成員を選出する際は、女性の意見も取り入れやすくなるよう、女性の人数にも配慮しましょう



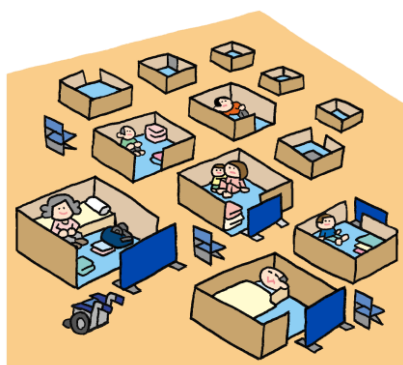
年齢や性別で役割を決めるのではなく、子どもから高齢者まで、より多くの人が運営に参加できるようにしましょう！

○特定の人に負担がかからないように適宜交代するなど



各スペースを男女別に分けるなど、プライバシーを確保しましょう！

（トイレ・洗濯物干し場・更衣室・休養スペースなど）



同性の担当者が物資を配布しましょう！また、必要な物資を要望しやすい環境を整備しましょう！

